

# 実績確認概要書

平成22年2月5日

審査機関名 株式会社 J A C O C D M

## 1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	白洋舎横浜事業所における、ガス焚蒸気ボイラの高効率タイプへの更新による省エネルギー事業
承認番号	JCDM-PJ0039
排出削減事業者名	株式会社白洋舎 横浜事業所 ユニフォームレンタル横浜事業所
排出削減共同実施事業者名	株式会社 三井住友銀行 株式会社 リサイクルワン
事業実施場所	株式会社白洋舎 横浜事業所 神奈川県横浜市港北区新羽町1276
事業の概要	ユニフォームレンタル事業のクリーニング工場における汎用ガス焚ボイラー3台を高効率ガス焚ボイラー3台に更新することにより、CO <sub>2</sub> 排出量を削減する。
排出削減量の計画	89.48 t CO <sub>2</sub> /年（事業実施期間合計 357.92tCO <sub>2</sub> ）
国内クレジット認証期間	開始日 2009年4月1日 終了予定日 2013年3月31日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

## 2. 本実績確認の対象期間

2009年4月1日～2009年12月31日（第1回目実績報告）

## 3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	56tCO <sub>2</sub> （2009年4月1日～2009年12月31日）
-------	--

#### 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること	<p>1)開始日の確認（初回実績確認の場合）</p> <p>設備導入は2009年2月予定で、2月9日に稼働を開始した。排出削減事業計画においては開始予定日が2009年4月1日であり、予定通り、開始日を2009年4月1日として実施されたことを質問および証拠書類により確認した。排出削減量の算定は、予定通りに適正に計算されている。</p> <p>2)対象期間中の設備稼働確認</p> <p>計測記録により、設備稼働状況は予定通りであったことを確認している。</p>
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<p>1)モニタリング方法の確認</p> <p>現地訪問時の目視確認、審査に立ち会った関係者への質問、ガス流量メーターによる測定記録の確認等により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、モニタリングが実施されていることを確認している。</p> <p>2)活動量の正確性</p> <p>現地訪問時の目視確認、審査に立ち会った関係者への質問、ガス流量メーターによる測定記録等の確認により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、エネルギー使用量その他の計測値の記録・保存が適切になされており、正確に集計されていることを確認している。また、都市ガスの使用量については、ノルマル換算が正しく実施されていることを確認している。</p> <p>3)単位発熱量、排出係数等の係数の確認</p> <p>排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等が、排出削減方法論及び承認排出削減事業計画</p>

	<p>通りであることを確認している。ただし、排出削減計画書において、ボイラ効率は低位発熱量ベースで記載されていたが、排出削減実績報告書においては、全て高位発熱量ベースの数値に修正されていることを確認している。</p> <p>4)排出削減量算定方法及び算定結果の確認</p> <p>事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果を測定結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認している。</p>
<p>算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと</p>	<p>本実績確認の対象期間は、2009年4月1日から12月31日までであり、排出削減量を算定した期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないことを確認している。</p>

#### 5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）

本実績報告期間の実績確認の結果、承認排出削減事業計画からの重要な変更はないことを確認している。

#### 6. 特記事項

確認した排出削減量に相当する省エネ量について、原油換算 30.6KL であることを確認した。